

城南地区の人口と世帯	
6月末日現在()内は前月比	
人口	18,806人 (-10)
男	9,404人 (-9)
女	9,402人 (-1)
世帯	7,045世帯 (-1)

編集発行：前橋市城南公民館 〒379-2117 前橋市二之宮町 1320 番地 TEL268-2111 FAX268-5038
 ホームページ：前橋市 (<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>) → 公民館 → 城南公民館 (支所)

あなたにピッタリの講座は？ 公民館の講座へ行こう！

公民館では年間を通していろいろな講座を企画しています。現在受け中の「夏の少年教室」(7月1日号館報に掲載)など子ども向けの事業から、子育て中の方、ご高齢の方、運動、学び、遊び…盛りだくさん！その都度館報や回覧版チラシなどでお知らせしています。これからは夏から秋に向けていろいろな講座を企画中。お楽しみに。興味のある講座を見つけたら、ぜひご参加ください！人気の講座は即日満員になることも…。「行ってみたいナ」と思ったら、即決！みなさんのご参加をお待ちしています。

私も踊れる！憧れのフラダンス 歌謡曲でフラを踊ってみませんか？

～城南公民館地域づくり講座事業～

憧れのフラダンスを、誰もが聞いたことのある歌謡曲に合わせて踊りませんか？「てんとう虫のサンバ」や「世界に一つだけの花」など、1曲程度のマスターを目指します。基本のステップから丁寧に指導いただけます。新しいスタイルのフラを一緒に踊りましょう！

- 日 時：8月19日・26日
9月2日・9日・16日・23日・30日
10月7日・14日・21日 全10回
午前10時～11時30分 毎週金曜日
- 会 場：城南公民館 2階 音楽室
- 講 師：青木節子先生(全国歌謡フラ友の会会員)
- 対象者：城南地区在住の方、12名程度
- 費用：無料
- 申込み：電話にて受付
城南公民館 268-2111
- 締切り：7月29日(金)まで



昨年人気の講座が再び登場！ 今と昔、子育てが違う？！

～子育て支援講座～

「事故予防・今と昔の子育ての違い」と題して、人気の講座を今年も行います。一昔前では考えられなかった事故が起こりうる現代。親としての子育てだけでなく、大切なお孫さんを見守り育てていくときに、とつても役に立つ知識を学びます。

自分の子どもや孫、そして地域の子どもたちを大人たちみんなで育てていきましょう。

- 日 時 平成28年8月17日(水)
午後10時～11時
- 場 所 城南公民館 1階 ホール
- 対 象 市内在住の子育てに興味のある方
- 定 員 40名
- 持 ち 物 筆記用具
- 受 講 料 無 料
- 講 師 前橋市子育て支援課 保健師
- 申 込 み 7月25日(月)公民館へ電話にて受付
- 問 合 せ 先 城南公民館 268-2111



新井橋袂の庚申塔(新井町)

神沢川に架かる新井橋袂に庚申塔がある。角状の塔身には首部が造りだされ、その上に唐破風状の屋蓋が載る。塔身の上位右に「癸(胎蔵界大日如来)」、左に「癸(金剛界大日如来)」の梵字が刻まれている。中央に「奉造立庚申供養」、右に「貞享四丁卯年施主」、左に「三月十八日敬白」との刻銘が認められる。なお、□内の文字は土中に埋まっている。貞享四年(一六八七)の造立で、江戸時代前期の古い特徴を有している。庚申信仰は中国の道教に由来し、日本へは平安時代に伝わり、江戸時代になると庶民の間に盛行するようになる。

庚申は、十干の庚と十二支の申の日に講を組んで行う。人間の体内に三戸という虫がいて、庚申の夜に体内から抜け出し、その人の罪や過ちを帝釈天に上告する。その罪過の重さによって死期が早められるという。庚申の日は身を慎み、講の人達と御馳走を食べながら朝まで眠ることなく、一番鶏の鳴き声を聞いて終わるのが「庚申講」である。なお、体内の三戸を退治するには庚申講を七回続ければ三戸は絶えるとされていた。内田憲治(荒砥史談会)



中央は屋蓋を載せる庚申塔
左は下半部を欠損する地藏菩薩、右は五輪塔の部分